

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

思いをこめて、あしたをつくる

売上高
2,100億円営業利益率
7%以上ROE
8%以上電動車向け売上比率
50%

② 中長期の経営戦略

1. パーパスを実現する人材戦略

従業員エンゲージメント向上により挑戦できる風土を醸成。人権尊重、安全・健康、労働環境改善の基盤整備と人材育成・D&Iで事業成長に結びつける

3. 多様な技術による価値創出

東大垣工場の技術開発センター（7月完成予定）を共創空間として、開発・生産技術の一体的研究開発と新規事業創出を加速。知財マネジメント力強化により高付加価値事業を推進

2. 売上と利益の共成長

プレス製品の付加価値向上、樹脂製品の新規顧客開拓、バルブ製品の電動化対応、新製品のデータビジネス化で営業キャッシュ・フロー内での成長投資を推進

4. サステナビリティと経営の統合

マテリアリティ15項目とKPIに基づき取り組み。PACIFIC環境チャレンジ2050で2050年カーボンニュートラルを目標。事業を通じた脱炭素・サーキュラーエコノミー・社会課題解決に貢献

③ 対処すべき課題

① 電動化への適応と市場開拓

- ・ プレス・樹脂・バルブ事業で電動車向け製品の生産能力を拡大。2023年東大垣新工場稼働、米工場第5工場建設継続
- ・ BEV動向を見極めながら需要に合った生産体制構築。バルブ工場2024年3月竣工で競争力強化

② 新事業の拡販と認知度向上

- ・ モビリティ以外分野で社会課題解決を軸に開発。2023年度6件新商品・サービスリリース。
- ・ 牛体調モニタリング・物流管理・防災マットなど既存商品の認知度向上と拡販が課題

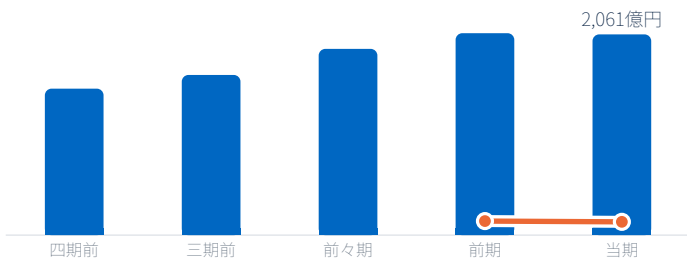
③ 財務・資本効率の向上

- ・ 前中期計画OCEAN-22で営業利益とROAが未達。ROE意識の強化により2026年度8%以上を目標に設定
- ・ PBR1倍以上達成に向け、ROE向上とPER改善、資本コスト低減に取り組み。

面で使えるポイント

- ・ パーパス『思いをこめて、あしたをつくる』のもと、従業員エンゲージメント48.2%から2026年度60%への向上に取り組む…
- ・ 電動車向け売上比率を2026年度50%、2030年度70%に高める成長戦略と東大垣工場・技術開発センター活用による競争力…
- ・ CO2排出量2030年度50%削減目標を掲げるPACIFIC環境チャレンジ2050による…

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,061億円営業利益率
6.6%財務健康度
46点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 47.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
597万円平均年齢
41.0歳平均勤続
13.4年女性管理職
3.8%男性育休
75.4%

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

